

ミスミグループ本社 2017年3月期 第2四半期 連結業績

～ 円高による為替影響を吸収し、増収増益を継続 ～

株式会社ミスミグループ本社は本日、2017年3月期 第2四半期累計期間（2016年4月1日～2016年9月30日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

（百万円）	2016年3月期 第2四半期累計	2017年3月期 第2四半期累計	増減率
売上高	116,188	121,802	+4.8%
のれん等償却前 営業利益 ※	13,826	14,416	+4.3%
営業利益	12,563	13,295	+5.8%
純利益	8,081	8,350	+3.3%
1株当たり純利益	29.48円	30.42円	

※ Dayton Lamina Corporation 買収にかかるのれん・その他無形固定資産の償却前営業利益

<2017年3月期 第2四半期累計期間の連結業績ハイライト>

- 中国や欧州における販売伸長やVONA事業の積極展開等により、連結売上高は4.8%（現地通貨ベース11.5%）の増収を達成
 - 2017年3月期 第2四半期累計期間の世界経済は、全体として緩やかな回復が続きましたが、中国をはじめとするアジア新興国や資源国等の景気が下振れするなど、一部に弱さが見られました。こうした海外経済の不確実性の高まりが、日本経済への景気下押し懸念材料となっており、金融資本市場の変動の影響等にも留意しなければならない状況となっています。
 - このような環境において当社グループは、メーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の非効率を解消することで世界の製造業に貢献し、同時に事業拡大を加速させています。ITを核とした新たなものづくりに応えるため、引続きウェブ戦略を推進し競争力を強化しました。また、海外における拠点展開として、最適調達を目的とした現地生産・現地調達の取り組みを推進し、グローバル確実短納期体制の強化に努めました。これらの取り組みなどにより、為替変動の影響を受けたものの、自動車業界やエレクトロニクス業界の需要増を取り込んだFA事業や取り扱いメーカー数を拡大し顧客数が増加したVONA事業を中心に売上高が増加し、連結業績の拡大を牽引しました。
 - こうした結果、連結売上高は1,218億円、前年同期比で4.8%（現地通貨ベース11.5%）の増収となりました。利益については、営業利益は132億円（前年同期比+5.8%）、経常利益は131億円（前年同期比+7.7%）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は83億円（前年同期比で+3.3%）となりました。

2. VONA事業、FA事業を中心に成長が継続

- 2017年3月期 第2四半期累計期間のセグメント別売上高は、以下の通りとなりました。
- 当社グループの組織管理体制の見直しに伴い、報告セグメント区分につき第1四半期よりFA事業の一部をVONA事業に移管しています。なお、前年同期につきましても変更後の区分にて表記しています。

(百万円)	売上高(百万円)		増減率	
	2016年3月期 第2四半期累計	2017年3月期 第2四半期累計	円ベース	現地通貨 ベース
FA事業	38,038	40,011	+5.2%	+12.2%
金型部品事業	34,953	32,980	-5.6%	+4.8%
VONA事業	45,301	48,810	+7.7%	+13.8%
調整額(期ズレ等)	-2,105	—	—	—
合計	116,188	121,802	+4.8%	+11.5%

- FA事業においては、新たな自動化需要の積極的な取り込みが寄与し、為替影響を受けたものの、日本をはじめ中国や欧州で増加し、前年同期比5.2%の増収となりました。
- 金型部品事業は、中国、アジア、欧州における販売は好調だったものの、為替影響等により前年同期比5.6%の減収となりました。
- VONA事業は、成長を支える取扱いメーカー数が2,600メーカーを超えると同時に、取扱品目数は1,600万点に達しました。こうした品揃えの拡充を背景に販売拡大に努めた結果、為替影響を受けたものの、前年同期比7.7%の増収となりました。

3. 海外売上高は、中国・欧州での成長が継続

- 2017年3月期 第2四半期累計期間の地域別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高(百万円)		増減率	
	2016年3月期 第2四半期累計	2017年3月期 第2四半期累計	円ベース	現地通貨 ベース(※)
日本	61,110	66,782	+9.3%	—
海外(※)	55,078	55,019	-0.1%	+14.0%
中国	18,118	20,427	+12.7%	+31.4%
アジア	14,743	14,253	-3.3%	+9.6%
アメリカ	13,895	12,237	-11.9%	-1.1%
ヨーロッパ	5,948	6,101	+2.6%	+14.6%
その他	2,371	1,998	-15.7%	-5.4%

※連結財務情報のより適正な開示を図るため、第1四半期より、決算日が12月31日である連結子会社28社(MISUMI(CHINA) PRECISION MACHINERY TRADING CO., LTD. 他27社)については、連結決算日である3月31日における仮決算による財務諸表にて連結する方法に変更しております。この変更に伴い、当第2四半期累計は2016年4月1日~2016年9月30日までの6か月間を連結しております。なお、2016年1月1日~2016年3月31日までの損益は、利益剰余金の増減として調整しております。

- 日本では、拡大する確実短納期ニーズに応えながら、自動化需要の積極的な取り込みやVONA事業での積極拡販などに努めた結果、9.3%の増収となりました。
- 海外においては、為替影響により円ベースでは前年同期レベルでしたが、中国や欧州で好調に販売を伸ばし、現地通貨ベースでは14.0%の増収となりました。特に中国においては、経済成長の鈍化傾向が強まる中、製造業の新たな自動化需要を積極的に取り込み、高い伸長となりました。アメリカでは自動車用金型需要の低迷などで弱含みました。

4. 第2四半期末の配当金は7円61銭

- 当社は、持続的成長と企業価値向上を実現するための経営基盤拡充、財務体質の強化、資本効率の向上などを総合的に勘案し、株主還元方針を定めております。
- 配当に関しては、配当性向25%を基準に決定しておりますため、当第2四半期末の1株当たり配当金を7円61銭（前年比24銭増）とさせていただきます。
- 期末配当予想については、配当性向25%を維持するとともに、通期の利益予想を修正しておりませんので、1株当たり8円62銭（前年比57銭増）に修正いたしました。

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	7円75銭	8円48銭	16円23銭
配当性向	25.0%	25.0%	25.0%
今回修正予想	—	8円62銭	16円23銭
配当性向	25.0%	25.0%	25.0%
当期実績	7円61銭	—	—
前期実績	7円37銭	8円05銭	15円42銭
配当性向	25.0%	25.0%	25.0%

5. 2017年3月期連結業績予想を修正

- 2017年3月期の連結業績予想における売上高については、平成28年5月12日公表の前回予想時点から、為替影響のみを修正いたしました。営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については前回予想より修正はございません。
- なお、今回の修正後においても、売上高・利益とも前期に引き続き過去最高を更新する見通しです。

2017年3月期 連結業績予想（2016年4月1日～2017年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想	256,000	27,200	26,600	17,800	64.85
今回修正	253,500	27,200	26,600	17,800	64.85
増減	-2,500	±0	±0	±0	—
前期実績	240,139	25,690	25,119	16,907	61.65

【業績予想に関する留意事項】

この資料に掲載されている2017年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2017年3月期 第2四半期の連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

この件に関するお問い合わせ
株式会社ミスミグループ本社
コーポレート・リレーション室 IR担当
Tel : 03-5805-7037 Fax : 03-5805-7372
mail : cc@misumi.co.jp